

独創的な人向け特別枠(仮称) 事業概要

平成26年5月
総務省
情報通信国際戦略局
技術政策課

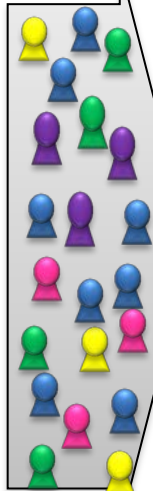


独創的な人向け特別枠(仮称)

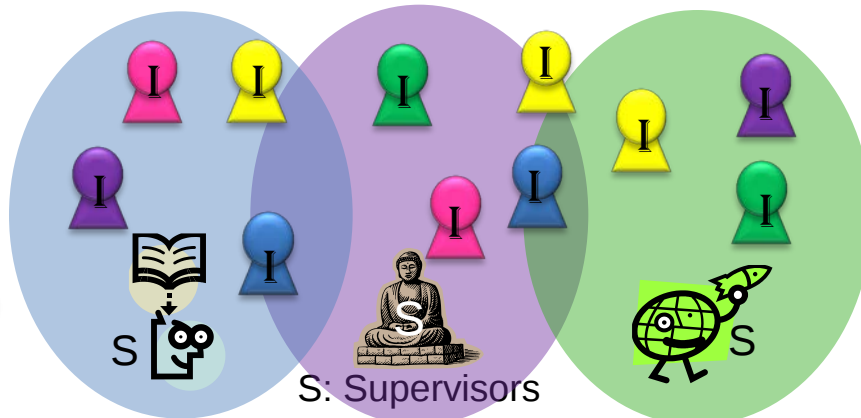
(通称: 変な人)

「Disruptive Change」: 世界的に予測のつかないICT分野において、破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、**大いなる可能性**がある**奇想天外でアンビシャスなICT技術課題**に挑戦する人を支援。閉塞感を打破し、異色多様性を拓く。

公募



ICT技術課題に挑戦する個人: I(Inno)



クラウドネットワーク環境などバーチャル研究室環境を整備予定。
プログラムで宣伝を代行。外国著名講師によるサマースクール、
学会イベント等を予定。

ゴール

**Ambitious
Technical
Goals**

評価

→ これまで漠としていた実現性
(成功)への道筋への輪郭が明
確になったかどうか。
(低い評価=あいまいなままであ
る課題)

→ 失敗により道筋がたてられ方
向性が明確になった場合は「高
評価」

→ 失敗例の共有をプログラムで
実現。

異能innovateしていると間違えることもある。一番良いのはそれをすみやかに理解し「改善」と共に次のinnovationsを
進めることだ。-スティーブ・ジョブズ Sometimes when you innovate, you make mistakes. It is best to admit them
quickly, and get on with improving your other innovations. -Steve Jobs

- ◆対象者: 大いなる可能性のあるICT課題に挑戦する個人 義務教育修了者
- ◆研究費: 300万円(上限) (所属機関には間接経費を別途支給)
- ◆公募開始: 2014年6月(予定)
- ◆期間: 1年間(繰返し応募可)
- ◆採択件数: 10件程度(想定)
- ◆評価: 絶対評価。

***ゴールへの道筋が明確になる
価値ある「失敗」を奨励**

事業構造

- 業務実施機関（研究開発委託先）を公募。事業設計（広報・運営・管理）を含めた提案を募集する。（企画競争）
- 業務実施機関は広報、ICT技術課題に挑戦する個人の研究管理、事業運営等、本事業の広報・運営・管理に係る業務を実施。

総務省

プログラム評価委員会

業務実施機関の評価・審査
技術課題に挑戦する個人の採択承認
スーパーバイザーの承認

業務実施機関（研究開発委託先）

研究開発委託契約

広報

- 広報宣伝
- コミュニティ宣伝
- 成果展開（宣伝）

管理

- Innoの研究管理
- 全体管理・業務改善検討等
- 研究不正管理
- 利益相反確認など

クラウド環境の整備

運営：

- 技術課題に挑戦する個人同士や、スーパーバイザーとの議論等を可能とするバーチャル研究室の環境整備及び運営
- クラウド環境上における研究進行の支援など

- Innoによる提案の公募・評価に係る事務
- 個人提案者への法人設立等機関所属に係るアドバイスなど
- スーパーバイザー、挑戦する個人への経費支払

（平成27年度以降）

- 終了課題の管理
- 終了課題者の連絡・調整等

スーパーバイザー
技術課題に挑戦する
個人の選考・評価
研究の助言など

経費支払い（物品購入・謝金）は、業務実施機関（研究開発委託先）が実施。証票書類の管理を行う。また、物品管理・勤務管理方法を提案

挑戦する個人
（所属機関）

挑戦する個人
（所属機関）

挑戦する個人
（所属機関）

...

スーパーバイザー

技術課題に挑戦する個人(Inno)

- 総務省からの任命書を受理、誓約書提出など